

自然共生社会形成プロジェクト

(豊かな自然を享受できる地域づくり)

【目的】 農業の生産性及び産地収益力の向上による農業経営の安定化を図るため、**資源循環を基本とした環境保全型農業を実践することを目的としている。**

■現状と課題

- ① 離農などに伴い、経営規模の拡大、飼養頭数の拡大
- ② 用水施設の老朽化及び施設容量の不足
- ③ 労働力不足
- ④ 牧草の収量が低下
- ⑤ 糞尿の適正な圃場への還元が困難
- ⑥ 糞尿や肥料成分等の負荷物質の河川への流出による水質環境の悪化



対策イメージ



《整備イメージ》



事業の効用 ・牧草収量の増加 ・周辺環境の改善
 ・作業性の改善 ・経営環境の改善



広域交通ネットワーク形成プロジェクト [釧路・根室連携地域]

国家的・広域的な課題

広域分散型社会を形成している地域であり、都市部と地域を結ぶ高規格道路や国際バルク戦略港湾を始めとする基幹的ネットワークの整備を進め、基盤整備を含めた物流の強化を図る必要があります。

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

■豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

プロジェクトの概要

農水産品・食料品の輸送や観光等に求められる広域的な人流・物流を支える交通体系を強化する観点から、生産地や観光地、消費地、空港・港湾等の交通拠点を結ぶ道路ネットワークの整備を推進します。

また、国際バルク戦略港湾を始め、海上輸送網の拠点となる港湾の機能強化やRORO船等に対応した複合一貫輸送機能の維持・強化を推進します。

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- **暮らしや産業を支える交通・情報ネットワークの形成**
 - ・鉄道やバス、高規格道路や国際物流ターミナルなど、地域の生活と産業を支える交通ネットワークの維持・確保及び充実、高度情報通信網の整備

主な取組

- **交通・物流ネットワークの強化**
 - ・高規格道路を始めとする基幹的ネットワークの整備
 - ・内外との人流・物流基盤である港湾・空港機能の強化
- **利便性を確保するためのアクセス機能の向上**
 - ・釧路都市圏における交通渋滞の解消
 - ・交通事故死者率の減少
 - ・地域間連携による医療・福祉機能の確保を支える速達性・確実性の高い道路交通の確保

令和5年度までの具体的な施策内容

【道路】・地域の生活を支える道路網の整備

北海道横断自動車道本別～釧路（L＝約65kmのうち本別IC～阿寒IC L＝48km 2/4開通済み。阿寒IC～釧路西IC L＝約17km 2/4整備促進）

国道38・44号釧路外環状道路（L＝約16.8km）H31.3.9開通

国道38号釧路新道（L＝約8.8kmのうち、L＝約4.7km 4/4、L＝約4.1km 2/4開通済み。L＝4.1km 4/4整備促進）

釧路中標津道路上別保道路（L＝約7.8km）H31.3.9開通

国道44号尾幌糸魚沢道路（L＝約24.7km 2/2整備促進）

国道44号根室道路（温根沼IC～根室IC L＝約7.1km）R2.3.22開通

【港湾】・内外との物流基盤の整備

釧路港国際物流ターミナル整備事業（西港地区：水深14m岸壁、水深14m航路泊地）H30完了
釧路港の整備（島防波堤、新西防波堤、水深14m泊地の整備）

【空港】・内外との人流基盤の整備

釧路空港（進入灯橋梁改良、滑走路端安全区域(RESA)）R4完了

令和7年度（5年後）の目標

- 【道路】・北海道横断自動車道（阿寒IC～釧路西IC）のR6年度開通 ・釧路新道のR6年度4/4開通
- 【港湾】・釧路港の整備
- 【空港】・釧路空港の整備（R3年度 滑走路端安全区域(RESA)の完成、R4年度 進入灯橋梁改良の完成）【完了】

広域交通ネットワーク形成プロジェクト (利便性を確保するためのアクセス機能の向上)

- 平成28年3月の北海道横断自動車道（白糠IC～阿寒IC）と釧路外環状道路（釧路西IC～釧路東IC）、令和2年3月の根室道路の開通により、釧路・根室地域へのアクセス性が向上。
- 阿寒ICまでの部分開通による観光地への速達性の向上により、周辺観光施設及び釧路根室地域全体の観光入込客数は増加傾向にあるが、根室管内の観光入込客数は横ばいで推移している。
- 北海道横断自動車道（阿寒IC～釧路西IC）の整備により、道内外からの所要時間が短縮され、釧路根室地域の更なる観光活性化が期待される。

【釧路根室地域への観光入込客数の推移】



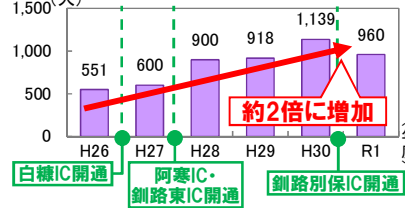
出典：北海道観光入込客数調査報告書

入込客数が約2割増加

【北海道横断自動車道周辺の主要観光地】



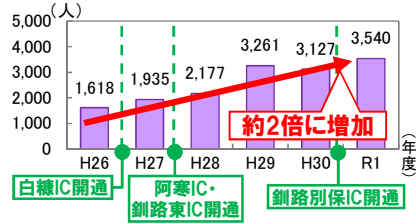
【ねむろバードランドフェスティバル参加者数】



出典：根室市観光協会

約2倍に増加

【根室半島チャシ跡群来訪者数】

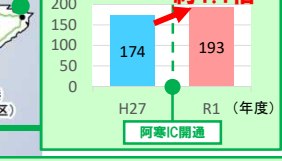


出典：根室市観光協会

約2倍に増加

■地域の声 (R2.10 阿寒行政センター職員)
 ・阿寒IC～釧路西IC・尾幌糸魚沢道路が整備されることで、道央圏からの観光客だけでなく、釧路根室圏からのアクセスが向上し、観光需要が増加すると考えられる為、早期延伸を期待しています。

【入込客数の推移】



【入込客数の推移】



写真：阿寒行政センター、釧路市役所HP、根室観光協会HP、根室市役所HP、釧路開発建設部

出典：根室市観光協会 ※R2、R3は新型コロナ禍によりイベント中止のため未掲載

災害に強い地域づくりプロジェクト [釧路・根室連携地域]

国家的・広域的な課題

切迫する日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震・津波、洪水、高潮等の災害から国民の生命や財産を守り、冬期複合災害への備えを進めるとともに、流域治水への転換、国土強靱化のハード・ソフト対策、インフラ老朽化対策としての予防保全への本格転換等にも取り組む必要があります。また、医療、子育て支援に向けた安全・安心なまちづくりを構築する必要があります。

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

■豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

プロジェクトの概要

平成28年8月に台風が相次いで北海道に上陸・接近し、道内各地の河川、道路、農業用施設等に甚大な被害をもたらされました。今後も気候変動により、災害が更に頻発、激甚化することが懸念されており、多様な主体との連携によりハード対策とソフト対策を効果的に組み合わせ、効率的な防災・減災対策を進めます。

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- 災害に強く安心して暮らせる心豊かなまちづくりの推進
 - ・地震や津波、火山、大雨などに対する防災体制及び施設の充実・強化
 - ・森林保全や山地災害防止等のための地域環境に配慮した治山事業の推進
 - ・地域医療と保健・福祉の充実、妊娠・出産、子育てなど各ライフ・ステージにおける支援の推進
 - ・若者、女性、高齢者・障がい者など誰もが暮らしやすい地域づくりの推進

主な取組

- **いのち・地域をつなぐ基盤整備**
 - ・広域連携を可能とする緊急輸送ルートの確保
 - ・各交通手段における代替機能確保による多重化
 - ・インフラの老朽化対策
- **頻発する自然災害に備える防災対策の推進**
 - ・冬期視程障害による交通障害の防止
 - ・災害時におけるライフラインや住民避難場所の確保
 - ・防災関係機関との連携強化
 - ・地震・津波・洪水・高潮時における被害低減及び避難経路の確保
 - ・流域治水プロジェクトの推進
 - ・道の駅の防災機能強化の推進
 - ・空港機能確保のための空港施設の適切な更新改良
 - ・災害時における農水産物流通機能の確保
- **総合的な防災・減災対策の推進**
 - ・防災意識を高める啓発活動、防災訓練の実施
 - ・現地情報連絡員（リエゾン）、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）、水土里（みどり）災害派遣隊等の派遣、災害対策用資機材の貸与等、きめ細やかな地域支援の実施

令和5年度までの具体的な施策内容

- 【河川】・**釧路川の治水安全度の向上、減災対策**
 釧路川河川改修（弟子屈地区 堤防天端保護（R2完了）、河道整備）
 釧路川河川改修（標茶地区 堤防天端保護（R2完了）、堤防整備）
- 【道路】・**災害に強い道路網の整備**
 北海道横断自動車道本別～釧路（L=約65kmのうち本別IC～阿寒IC L=48km 2/4開通済み。阿寒IC～釧路西IC L=約17km 2/4整備促進）
 国道44号尾幌系魚沢道路（L=約24.7km 2/2整備促進）
 国道44号根室道路（温根沼IC～根室IC L=約7.1km）R2.3.22開通
 国道44号根室防雪（L=約12.2km 2/2整備促進）
 国道44号雪裡橋架替（L=0.2km 4/4整備促進）
 国道272号上春別防雪（L=約9.2 km 2/2整備促進）
 国道335号標津防災（L=約3.8km 2/2整備促進）R4.10.31開通
 国道44号釧路末広町電線共同溝（L=1.6km 整備促進）
 国道38号釧路橋北地区電線共同溝（L=3.4km 整備促進）
 国道44号釧路入江電線共同溝（L=1.4km 整備促進）
- 【港湾】・**効率的かつ安全な利用を実現するための港湾の整備**
 釧路港の整備（島防波堤、新西防波堤、水深14m泊地の整備）
 霧多布港の整備（北防波堤改良）R4完了
- 【空港】・**空港施設の整備**
 釧路空港（進入灯橋梁改良）R4完了
- 【漁港】・**災害に強い漁港の整備**
 厚岸漁港、落石漁港、齒舞漁港、羅臼漁港

令和7年度（5年後）の目標

- 【河川】・釧路川河川改修事業の弟子屈地区完了、標茶地区の継続
- 【道路】・北海道横断自動車道（阿寒IC～釧路西IC）のR6年度開通・根室防雪のR7年度開通・標津防災のR4年度開通【完了】・末広町電線共同溝R5年度完了
- 【港湾】・釧路港の整備、霧多布港の整備（R4年度北防波堤改良の完成）【完了】
- 【空港】・釧路空港の整備（R4年度進入灯橋梁改良の完成）【完了】
- 【漁港】・厚岸漁港の整備・落石漁港の整備・齒舞漁港の整備・羅臼漁港の整備
- 【防災】・各種防災会議、防災訓練の実施・津波防災地域づくり法支援
- 【共通】・施設の有効活用による避難対策・広域防災体制の整備

災害に強い地域づくりプロジェクト

○切迫する日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震・津波、洪水や高潮、暴風雪、火山噴火等に対する総合的な防災・減災体制の強化に向けた取組が課題となっています。
○道路事業、河川事業、港湾事業、漁港事業など各方面による対策により、災害に強い地域づくりを進めています。

総合的な防災・減災対策の推進

緊急対策派遣隊(TEC-FORCE)の派遣

大規模な自然災害等に際し、被災自治体が行う被災状況の把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施します。



リエゾン(現地情報連絡員)

被災状況調査班

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震津波避難対策推進会議の設置

津波避難対策特別強化地域に指定された市町村の津波避難対策緊急事業計画の作成が円滑に進むよう、津波避難対策における課題や得られた知見の情報共有を行う「推進会議」を設置しました。



釧路・根室地方推進会議
第1回: 令和4年11月9日
第2回: 令和5年 6月12日
作成状況(令和5年4月1日現在)

【港湾事業】【漁港事業】災害に強い港湾・漁港機能

【外郭施設の整備(防潮堤、防波堤)】

【霧多布港、釧路港】

霧多布港では、背後市街地の津波浸水被害を防ぐため、L1津波に対応した防潮堤の高上げ改良が実施されました。
また、釧路港の航路・泊地の安全性向上のために整備している新西防波堤は、津波被害の軽減に寄与します。



霧多布港 防潮堤改良



新西防波堤による津波被害の軽減
釧路港の航路・泊地の安全性向上

【耐震性能を強化した岸壁の整備】

【厚岸漁港】

耐震性能を強化した岸壁整備により、地震災害時における緊急物資輸送及び水産物流通機能を確保します。

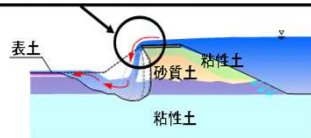


厚岸漁港

【河川事業】水防災意識社会再構築ビジョンに基づくハード・ソフト対策

堤防天端の保護

堤防天端をアスファルト等で保護し、堤防への雨水の浸透を抑制するとともに、越水した場合には法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



堤防天端をアスファルト等で保護した堤防では、ある程度の時間、アスファルト等が残っている。



氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」の実施



堤防天端舗装の様子
■堤防の天端舗装を実施



釧路川防災対策協議会の様子
(R5年3月16日
第9回協議会(ハイブリット))



簡易型河川監視カメラと危機管理型水位計設置の様子



河川防災教育の取組の様子
(標茶小学校・標茶高校)



【道路事業】災害に強い道路機能

【一般国道44号尾幌系魚沢道路】

- ・湿地帯・低地部に起因する冠水、吹雪による視程障害などの課題を解決。
- ・津波浸水被害などの災害時の救援活動等においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築。



【厚岸町の津波浸水予測範囲】

出典:厚岸町津波ハザードマップ

【「道の駅」の防災拠点化】

「道の駅」を防災拠点として位置づけ、道路利用者や地域住民に災害時に必要な機能を提供できるよう施設・体制を強化



防災資材庫及びマンホールトイレの整備

【一般国道38号(釧路新道)、一般国道38-44号(釧路外環状道路)】

道路整備により、災害時の緊急輸送ルートが強化されるほか、津波発生時の緊急避難道路としての活用が期待されます。

○釧路新道

避難階段の設置により津波発生時の緊急避難道路として活用。

【横断面】

津波を回避

避難階段(設置済)



○釧路外環状道路

国道44号釧路東IC付近の津波浸水回避が可能となり、災害時における迅速な避難及び救援活動が可能。

(A-A'断面)

《釧路外環状道路》

津波浸水を回避

《国道44号》

津波浸水

入口

出口



釧路町 緊急広場整備

釧路町の要望に応え、減災に向け国有地を有効活用

地域環境整備プロジェクト [釧路・根室連携地域]

国家的・広域的な課題

北方領土問題の解決は、領土という国の主権に関わる戦後我が国に残された重要課題であり、北方領土問題を巡る外交交渉を後押しする啓発活動の展開や北方四島在住ロシア人との交流など問題解決のための環境整備に努める必要があります。

また、北方領土隣接地域(根室管内1市4町)が置かれている特殊な地域事情に鑑み、安定した地域社会を形成する必要があります。

地域のめざす姿(令和7年の地域の将来像)

■豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

プロジェクトの概要

魅力ある地域づくりを実現させるためには、安心して暮らせる住環境と必要な利便性を確保した上で、豊かな自然環境をこれからも享受できるような地域である必要があります。

北方領土返還要求運動の拠点である北方領土隣接地域では、地域活力の低下が見られることから、この地域での活力維持発展を図るため、重点的・効率的な安定振興策を推進します。

また、北海道の先住民であるアイヌの人々の生活環境等の向上を図るため、道路網等の環境整備を促進します。

連携地域の主な施策の方向(今後5年程度)

- 北方領土問題の解決に向けた世論啓発・環境整備
 - ・北方領土問題の啓発活動や北方四島交流などの推進
 - ・北方領土隣接地域の振興

主な取組

- 北方領土隣接地域における地域整備の推進
 - ・隣接地域の振興と安定した魅力ある地域社会の形成を図るための農水産物の高付加価値化、周遊観光の構築、四島交流拠点の整備、地域医療の支援、地震・津波・洪水・高潮対策等、ハード・ソフト一体となった取組の重点化
 - ・流域治水プロジェクトの推進
- アイヌ文化の振興支援
 - ・地域資源であるアイヌ文化を活かした広域観光のための環境整備の促進

令和5年度までの具体的な施策内容

- 【河川】・釧路湿原の自然再生
 - 久著呂地区土砂流入対策(R1完了)、幌呂地区湿原再生、ヌマオロ地区旧川復元
- ・地域と連携した河川空間づくり
 - 釧路川河川改修(弟子屈地区 堤防天端保護(R2完了)、河道整備)
- 【道路】・地域環境を踏まえた道路網の整備
 - 北海道横断自動車道本別～釧路(L=約65kmのうち本別IC～阿寒IC L=48km 2/4開通済み。
 - 阿寒IC～釧路西IC L=約17km 2/4整備促進)
 - 国道44号根室道路 (温根沼IC～根室IC L=約7.1km) R2.3.22開通
 - 国道44号根室防雪 (L=約12.2km 2/2整備促進)
 - 国道272号上春別防雪 (L=約9.2 km 2/2整備促進)
 - 国道335号標津防災 (L=約3.8km 2/2整備促進) R4.10.31開通
- 【港湾】・根室港における港湾機能の充実
 - 根室港の整備(水深5.5m岸壁改良、水深6m岸壁改良、北船揚場改良)
- 【漁港】・水産物の高付加価値化に資するための「衛生管理型漁港づくり」
 - 衛生管理型岸壁等の整備(厚岸漁港、落石漁港、歯舞漁港、羅臼漁港)
- 【農業】・生産性の向上と農作業の効率化により、農業経営の安定を図るための事業
 - 国営環境保全型かんがい排水事業(別海西部地区(R2完了)、別海北部地区、根室地区)

令和7年度(5年後)の目標

- 【河川】・釧路川河川改修事業の弟子屈地区完了 ・釧路湿原自然再生事業の継続
- 【道路】・北海道横断自動車道(阿寒IC～釧路西IC)のR6年度開通 ・根室防雪のR7年度開通 ・標津防災のR4年度開通【完了】
- 【港湾】・根室港の整備
- 【漁港】・厚岸漁港の整備 ・落石漁港の整備 ・歯舞漁港の整備 ・羅臼漁港の整備
- 【農業】・根室地区の整備完了 ・別海北部地区の整備

地域環境整備プロジェクト

【整備目的】

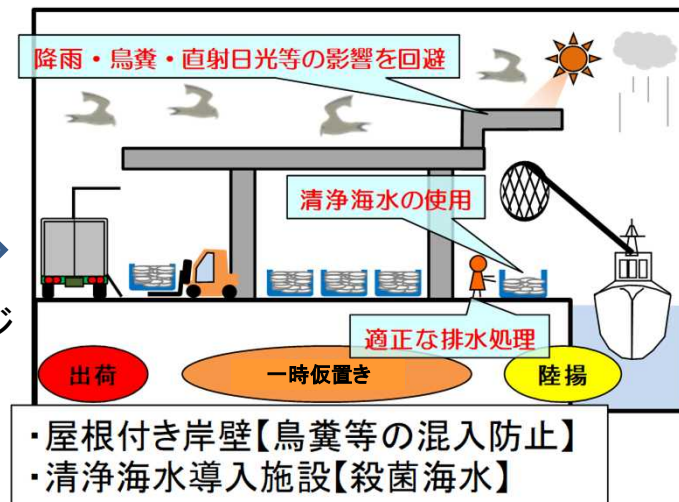
安全・安心な水産物の安定供給を図るため、漁港における総合的衛生管理対策を推進
(厚岸漁港、落石漁港、歯舞漁港、羅臼漁港)

■現状と課題

- ①鳥類が蝟集する中での陸揚作業により糞や埃の混入
- ②野天での陸揚げから直射日光や降雨による鮮度低下



対策イメージ



これまでの衛生管理対策の実現



羅臼漁港 人工地盤



厚岸漁港 屋根付き岸壁・人工地盤



歯舞漁港 屋根付き岸壁・人工地盤
(R4完成)

